

# 防犯教室を通じて、子どもに自分自身で身を守る意識を養います。

## 大津警察署子ども安全 リーダー連絡協議会とは

——大津警察署子ども安全リーダー連絡協議会は、どのような組織ですか？

平成13年に大津警察署長の委嘱により組織された、犯罪から子どもを守る活動を推進していく団体です。

各学区に幹事を設け、3カ月に1度定例会を開催し、地域の見守り活動等の意見交換をしています。

——どのような活動をしていますか？

子どもの見守り活動としては、登下校時における子どもたちへのあいさつ活動を行うことで、子どもたちの安全を確保し、気付いた点等は校園と情報共有しています。

また、「こども110ばんのおうち」に登録して頂いている方を把握し、設置されている黄色いロードコーンの維持管理も行っています。

そして、小学校や幼稚園、保育園、こども園にて、子どもたちに寸劇や人形劇を見せながら、犯罪から身を守ることを教える防犯教室を開催しています。

## ゆうかいにあわないための5つのやくそく

——特に大事にされているのは、防犯教室とお聞きしております。

防犯教室では、「ゆうかいにあわないための5つのやくそく」を掲示し、子どもたちが犯罪に巻き込まれないために守ってほしいことを伝えています。

特に大切にしていることは「自分の命は自分で守る」ことを子どもたちに理解してもらうことです。この言葉の意味を理解して、成長していくことで、他人の命も大事にできる大人になってくれるのではないかと期待しております。

子どもたちはとても素直です。私たちの伝えたいことをしっかり聞いてくれるので、やりがい

を感じています。これからもより多くの校園から依頼を受け、継続していきたい事業の一つです。

## 子どもたちが大人へ、 今度は地域を守る立場に

——これからの展望を教えてください

以前は、地域の見守り活動の体制がここまで充実しておらず、当時の大人たちは、必要性を感じながらも消極的であったように思います。今の子どもたちが大きくなった時には、私たちの活動に影響を受け、自ら見守り活動に参加し、命の大切さを伝えていってくれる大人になってほしいと思います。

【取材日：令和5年7月4日】

